



## 関西国際空港 第1ターミナルビルリノベーション 新国内線エリアがオープン！

関西エアポート株式会社は、本日10月26日（水）に現在リノベーション工事中の関西国際空港第1ターミナルビルの新国内線エリアがオープンしたことをお知らせいたします。

新国内線エリアのオープンに合わせて、弊社代表取締役社長 CEO 山谷佳之、代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロをはじめ関西国際空港の関係者による、テープカットセレモニーを実施いたしました。



テープカットセレモニーの様子

新たな国内線エリアでは、保安検査後の商業エリアを大幅に拡充し、関西色豊かな計6店舗（飲食4店舗、物販2店舗）や、対象の旅客の方にご利用いただける国内線ラウンジが新たにオープンします。搭乗までの待ち時間にお買い物やお食事などを楽しんでいただける魅力的な空間に生まれ変わります。

関西エアポートグループは、これからもお客さまがワクワクするような事業展開を進めるとともに、国内外のお客さまを迎える関西地域のゲートウェイである関西国際空港の機能強化に向けて、安全・安心を第一にプロジェクトを進めてまいります。



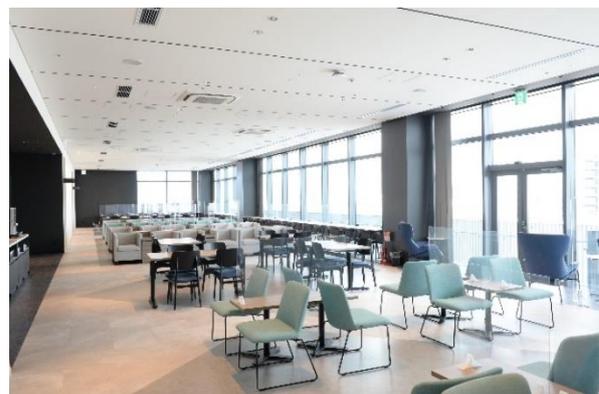
保安検査後の商業エリア



保安検査後の商業エリア



「WHILL 自動運転サービス」



「ラウンジ KANSAI」

## <関西国際空港 新国内線エリアオープン概要>

- オープン日：2022年10月26日（水）
- 保安検査後の店舗がオープン 6店舗（飲食：4、物販：2）
- 新国内線ラウンジがオープン ※ANA、JALのラウンジ利用対象者用

## <今後のスケジュール>

- 2023年冬 新国際線商業エリアオープン
  - 2025年春 グランドオープン（主要機能完成）
  - 2026年秋 新国際線商業エリア拡張
- ※ 新国際線出発エリアなどを整備するPhase2工事については、計画通りPhase1終了を待つことなく、本年7月より準備工事に着手しました。  
また、お客様の利便性と安全安心に関わるエレベーター、エスカレーターの更新及び耐震化（Phase3）の一部、AGT（ウイングシャトル）駅の改修を前倒ししてPhase2で実施するなど、今後の国際線需要の回復に備えて参ります。  
工事期間中は、ご不便をおかけしますが、ご理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。

## <参考>

- 第1ターミナルビルリノベーション特設ページ  
<https://www.kansai-airport.or.jp/t1renovation>
- ※ 新国内線エリアオープンにともない、各航空会社のチェックインカウンターならびに出発口・到着口等の位置が変更しています。

---

### 【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社  
グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション  
Tel : 072-455-2201

関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: [www.kansai-airports.co.jp/](http://www.kansai-airports.co.jp/) をご参照ください。

#### 関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス 40%、 ヴァンシ・エアポート 40%、 その他の出資者 20% <sup>1</sup>
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

#### 関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社 100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



#### オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセンション、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界約30カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

今後も、常に新しい価値を創造する強みと専門性を生かし、〈オリックス〉という完成形のない独自のビジネスモデルを基に、企業や人々に活力をもたらす企業活動を通じて社会に貢献してまいります。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12カ国において53空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は [www.vinci-airports.com](http://www.vinci-airports.com) をご覧ください。

<sup>1</sup> 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JT B、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構

# (参考) T1リノベーション 今後のスケジュール

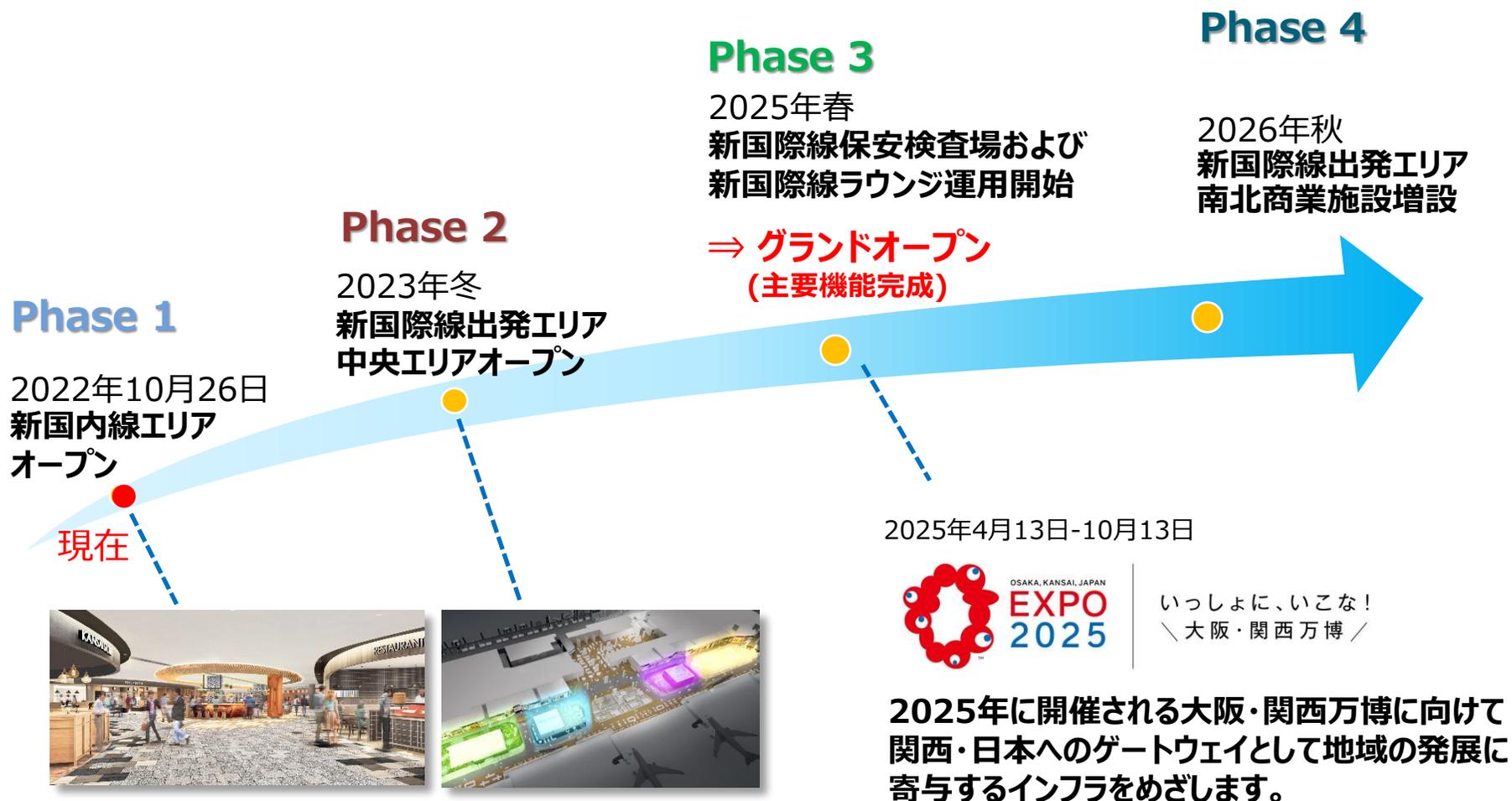
2022.10.26



Shaping a New Journey

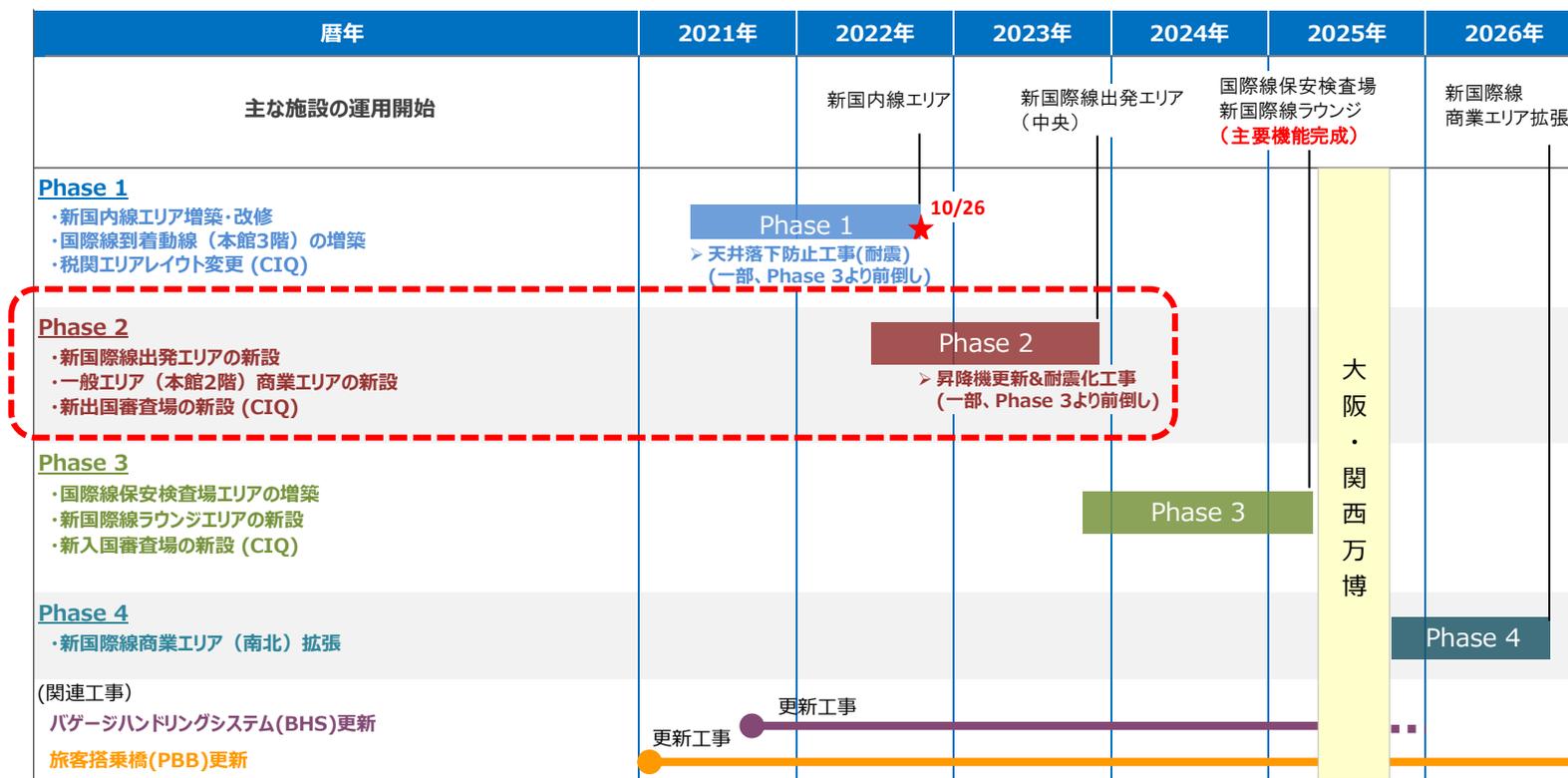


# 今後のスケジュール



# プロジェクトの推進

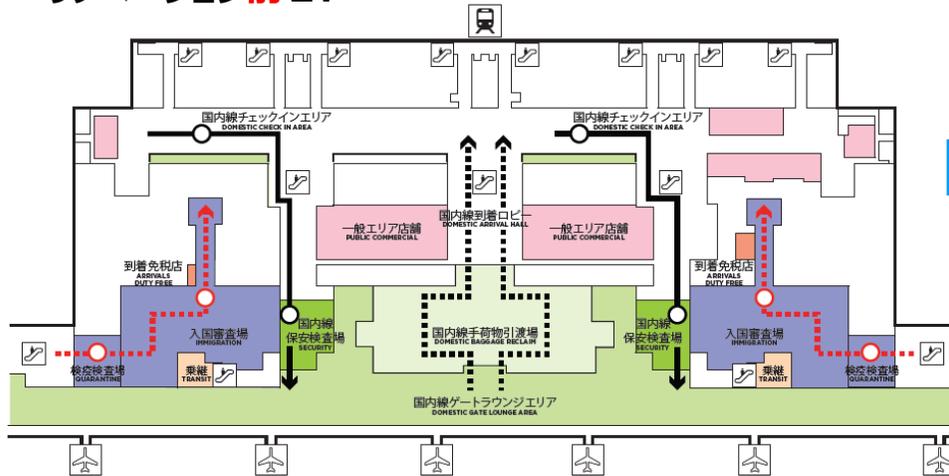
- 新国際線出発エリアなどを整備するPhase 2工事については、計画通りPhase 1終了を待つことなく本年7月より準備工事に着手しました。
- また、お客様の利便性と安全安心に関わるエレベーター、エスカレーターの更新及び耐震化工事(Phase 3)の一部、AGT（ウイングシャトル）駅の改修を前倒してPhase 2で実施するなど今後の国際線需要の回復に備えて参ります。
- 工事期間中は、ご不便をおかけしますが、ご理解賜りますよう、よろしくお願いいたします。



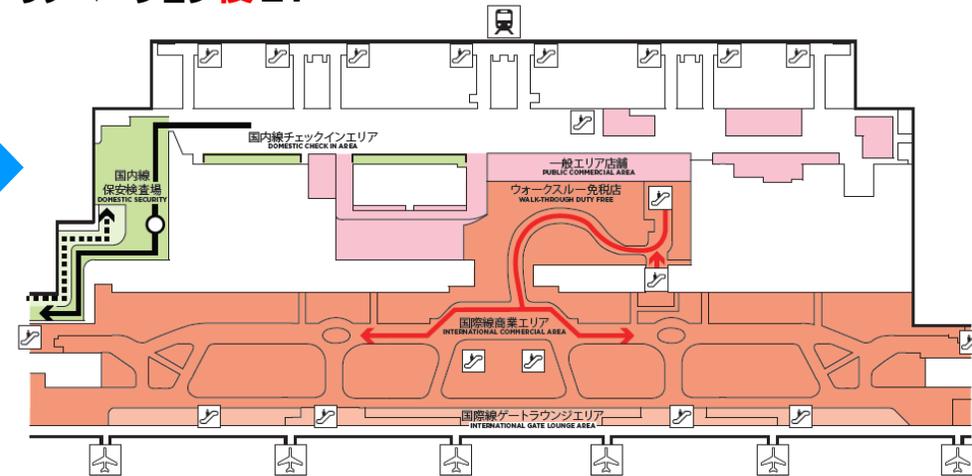
# 中央に国際線出発エリアを展開 (2F)

Phase 2  
Phase 4

リノベーション前 2F



リノベーション後 2F



- 国際線出発
- 国際線到着
- 国内線出発
- 国内線到着

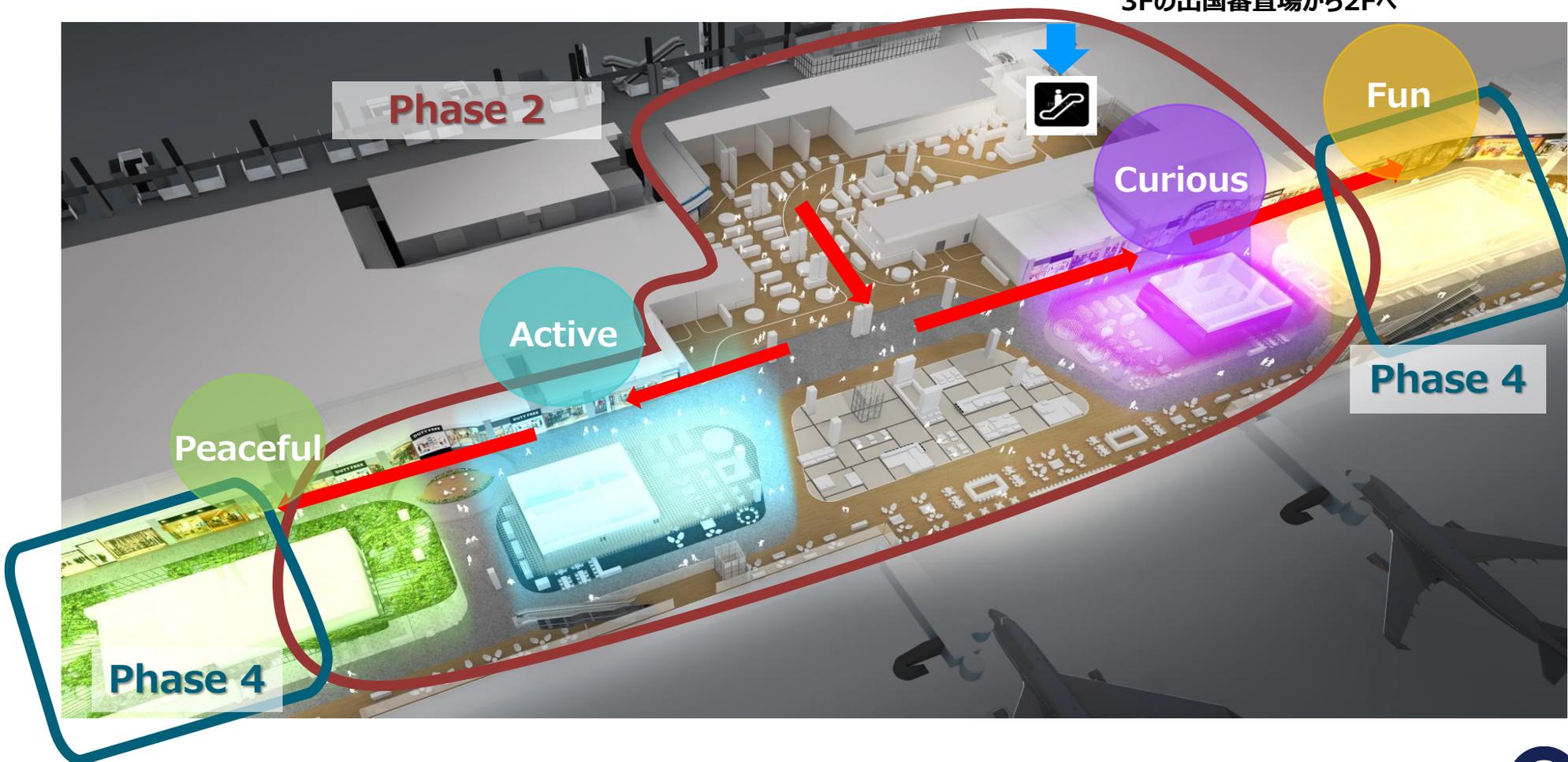
出国後のエリア **+60%**

# 国際線出発エリアを2Fに展開

Phase 2  
Phase 4

出発エリアを4つの異なった雰囲気ゾーンにゾーニング

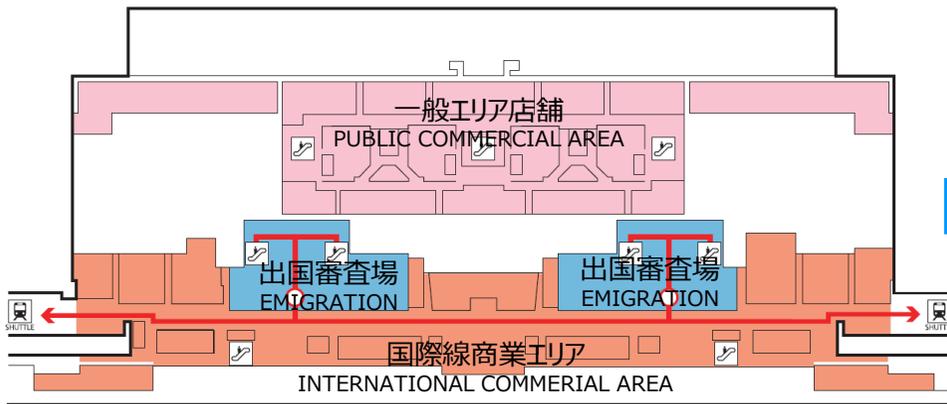
3Fの出国審査場から2Fへ



# 出・入国審査場の統合 (3F)

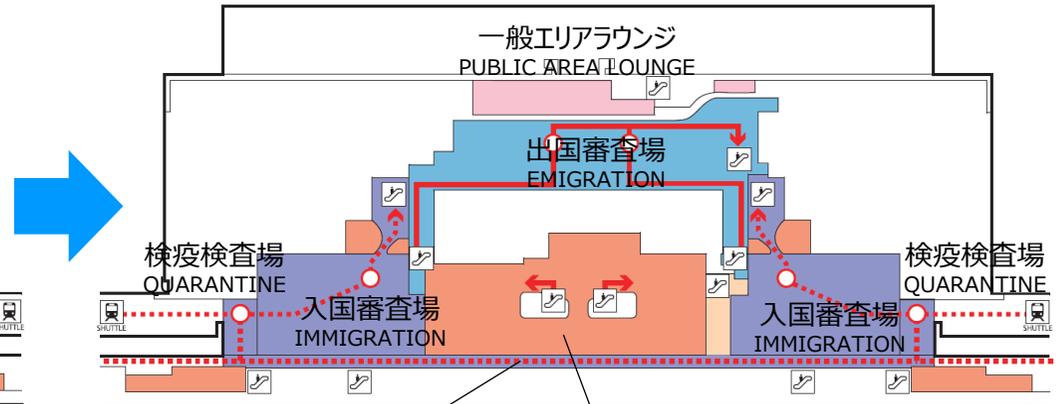
Phase 2  
Phase 3

リノベーション前3F



→ 国際線出発  
→ 国際線到着

リノベーション後3F



国際線ラウンジ  
INTERNATIONAL LOUNGE

南・北審査場接続廊下  
Connecting corridor North & South

# 3Fに出入国審査場及び国際線ラウンジを配置

Phase 2

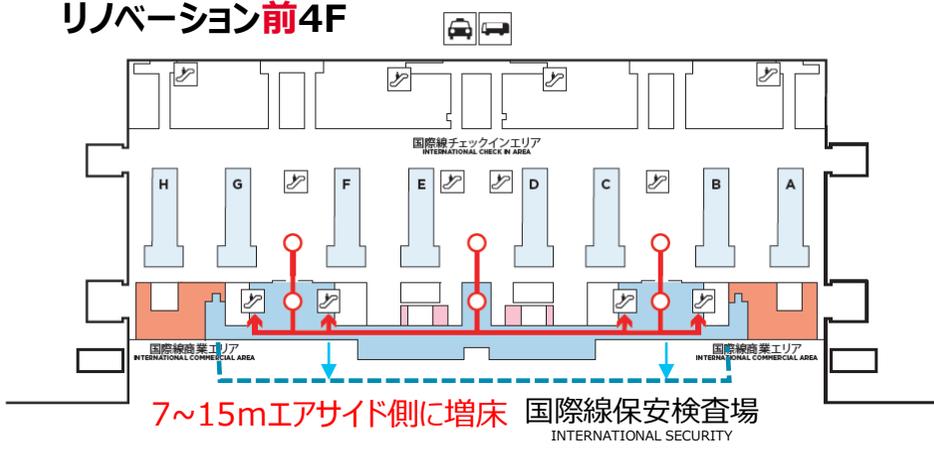
Phase 3



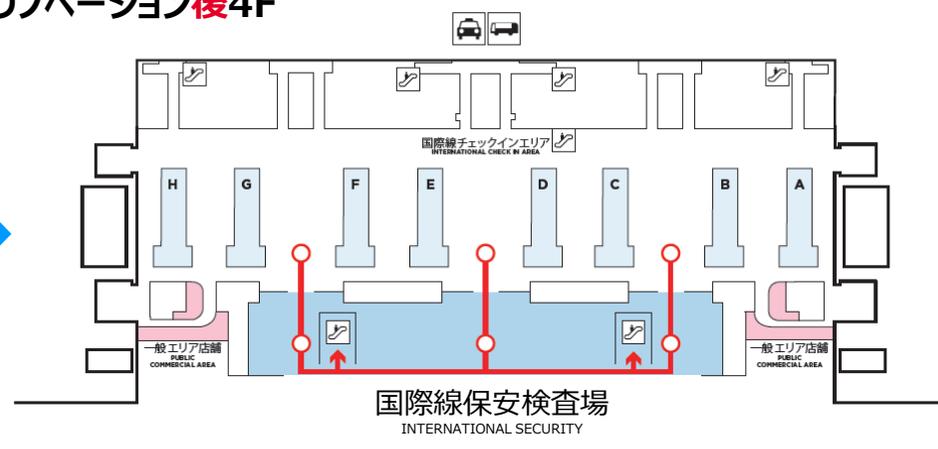
# 国際線 保安検査場を集約・拡張 (4F)

Phase 3

リノベーション前4F



リノベーション後4F



→ 国際線出発 旅客の流れ

# より速く、より快適に、ストレスなく、保安検査を通過

Phase 3

	Before	After
面積	約3,500m <sup>2</sup>	約6,300m <sup>2</sup>
スマートレーン	16台	22台
長さ	15m	20m

▶処理能力 約4,500人/時→6,000人/時



ロングスマートレーン導入イメージ

↑増床

既存端部ライン